

衆議院外務委員会ニュース

【第 208 回国会】 令和 4 年 5 月 11 日（水）、第 12 回の委員会が開かれました。

1 理事の辞任を許可し、補欠選任を行いました。

辞任 理事 小熊慎司君（立民）

補欠選任 理事 徳永久志君（立民）（理事小熊慎司君今 11 日理事辞任につきその補欠）

2 刑事に関する共助に関する日本国とベトナム社会主義共和国との間の条約の締結について承認を求め るの件（条約第 2 号）

強制労働の廃止に関する条約（第百五号）の締結について承認を求めるとの件（条約第 5 号）

千九百七十七年の漁船の安全のためのトレモリノス国際条約に関する千九百九十三年のトレモリノス
議定書の規定の実施に関する二十二年のケープタウン協定の締結について承認を求めるとの件（条約
第 6 号）

・ 林外務大臣、赤池内閣府副大臣、小田原外務副大臣、鬼木防衛副大臣、齋藤文部科学大臣政務官、島
村厚生労働大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。

・ 各件について採決を行った結果、いずれも全会一致をもって承認すべきものと決しました。

（賛成—自民、立民、維新、公明、国民、共産）

（質疑者） 武井俊輔君（自民）、吉田宣弘君（公明）、松原仁君（立民）、青山大人君（立民）、和田有一
朗君（維新）、鈴木敦君（国民）、穀田恵二君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

武井俊輔君（自民）

- （1） 韓国新大統領の就任式出席の際に韓国側の日韓関係改善の意欲に対する印象
- （2） ロシア外務省による日本人 63 名の入国禁止措置が北方領土交渉に与える影響
- （3） 沖縄復帰 50 周年を迎え、沖縄の課題及び振興への取組について林外務大臣の決意
- （4） 来年の G 7 サミット及び関連会合の今後の発表スケジュール、関連会合の数及び開催地の選定基準
- （5） 日・ベトナム刑事共助条約
 - ア 在留ベトナム人による犯罪増加に対する政府の取組
 - イ 犯罪増加の背景にある不適正な行為を行うベトナム送出国への対処

吉田宣弘君（公明）

- （1） 日・ベトナム刑事共助条約
 - ア これまでの両国における刑事共助の実施方策
 - イ 刑事共助のニーズの高まりの裏付けとされる在留ベトナム人の増加と我が国での犯罪検挙数増加の統計的な根拠
 - ウ 2021 年に検挙された在留ベトナム人の在留資格の種類と割合
- （2） 強制労働の廃止に関する条約（第 105 号）
 - ア 長年締結が要請されてきたとされているのに本条約を締結してこなかった理由
 - イ 懲役・禁錮に代えて拘禁刑を創設するとして「刑法等の一部を改正する法律案」との整合性
- （3） 未だアジア諸国が未締結である「漁船のためのケープタウン協定」のアジア諸国に対する影響
- （4） 林外務大臣のカザフスタン、ウズベキスタン及びモンゴル訪問（2022 年 4 月 28 日～5 月 2 日）の目的及び所感

松原仁君（立民）

- (1) 知床遊覧船事故（2022年4月23日）の捜査救助に当たり外務省の対応及び現地に外務省職員を派遣する必要性
- (2) 米軍等による対イラク武力行使（2003年3月）
 - ア 対イラク武力行使の理由に大量破壊兵器の保有が挙げられていたことに関する国連における議論
 - イ イラクに大量破壊兵器が確認されなかったことに対する英仏独等及びロシアの反応
 - ウ 米側が戦争を起こしたことに対する各国及び我が国の評価
 - エ 行動を共にする国の評価なしに「国際社会と連携」して行動することについて林外務大臣の所感
- (3) ロシアのシリア空爆（2015年9月開始）
 - ア 当時のロシアの化学兵器使用に対する国連安保理及び国際社会の反応及び具体的な経済制裁
 - イ 国際社会の平和と安全に反する行動について逐一反撃を行っていく必要性について林外務大臣の見解
 - ウ 米国がイラクに対して行ったように不誠実な態度をとる北朝鮮に対し国連が行動することの妥当性
- (4) ロシアによるウクライナ侵略
 - ア ウクライナ情勢の戦局についての林外務大臣の見解及びウクライナ兵及び市民に対する林外務大臣の激励の言葉
 - イ G20サミットへのロシアの参加に対する林外務大臣の所見

青山大人君（立民）

- (1) 日・ベトナム刑事共助条約
 - ア 日・ベトナム逃亡犯罪人引渡条約を締結する必要性
 - イ 我が国の逃亡犯罪人引渡条約締結に当たり我が国の死刑制度が障害となっていることの確認
- (2) 「強制労働の廃止に関する条約（第105号）」とともに未締結のILOの基本条約であるILO第111号条約の締結に向けた取組の状況
- (3) 「漁船の安全のためのケーブタウン協定」の締結に伴う国内規則の変更が漁業経営に与える影響及び政府による支援の必要性
- (4) 我が国の外交官の人員配置・拡充についての方向性
- (5) マスク着用義務
 - ア 諸外国におけるマスク着用義務の緩和状況及び我が国の、とりわけ教育現場におけるマスク着用についての施策
 - イ 海外動向も踏まえ、国内における現場状況に合わせたマスク対応の必要性
- (6) 国際機関での日本人登用
 - ア 今月投票が行われるWHO事務局長選挙において我が国政府が候補者を擁立しなかった理由及び2027年の次期事務局長選挙に向けた取組
 - イ 国際機関のトップポストの獲得に向けた我が国政府の戦略的取組の必要性

和田有一朗君（維新）

- (1) 冷え込んだ日韓関係の原因が韓国側にあること及び日韓合意（2015年）の履行について林外務大臣の所感
- (2) 漁船の安全のためのケーブタウン協定
 - ア これまで議論に参加していたが締結していなかったトレモリノス条約・議定書に今になって締結することとした理由

- イ 我が国漁業者、とりわけ内海漁業者に与える影響
- (3) 日・ベトナム刑事共助条約
 - ア これまでの刑事共助実施との違い
 - イ ICPOに加盟していない台湾との捜査共助の方法
 - ウ 国ではない香港と刑事共助協定を締結しているのに台湾とは締結できないとする理由
- (4) 台湾のWTO総会へのオブザーバー参加に対する我が国の立場
- (5) 日中国交正常化 50 周年について林外務大臣の所感及び外務省幹部の歴史認識がこれまでの対中外交に与えた影響
- (6) 拉致問題解決のため北朝鮮向けラジオ放送に対する政府の支援の必要性及び情報工作活動におけるラジオ放送の重要性

鈴木敦君（国民）

- (1) 知床遊覧船事故を踏まえた今後の船舶の安全基準の在り方
- (2) 「漁船の安全のためのケープタウン協定」に関する豪州の状況など外務省が我が国と漁業資源で競合する豪州の動向を調査していないことについて林外務大臣の所感
- (3) マスク着用義務が緩和されている国からの観光客に対する水際対策についてマスク着用を強いられている国民にも明示する必要性
- (4) 林外務大臣のフィジー及びパラオ訪問（2022年5月6日～8日）の結果概要

穀田恵二君（共産）

- (1) 安保法制による集団的自衛権としての武力行使は、専守防衛ではなく米国を勝たせるための武力行使であることについて林外務大臣の所感
- (2) 防衛省における軍事上の「指揮統制機能」の内容
- (3) 自民党安全保障調査会の提言において反撃能力の対象に含むものとしている「相手国の指揮統制機能等」を中国で想定した場合に該当する組織
- (4) 攻撃対象を「指揮統制機能等」とすることが中国との全面戦争に繋がる懸念について林外務大臣の所感